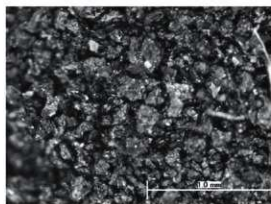
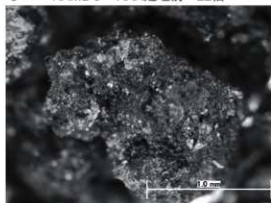


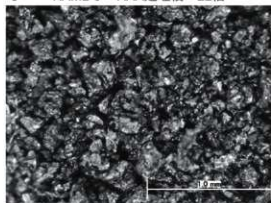
5 KAMB 3 AAA处理前 22倍



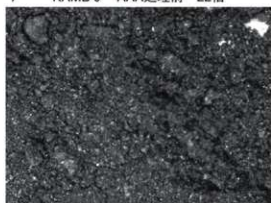
6 KAMB 3 AAA处理后 22倍



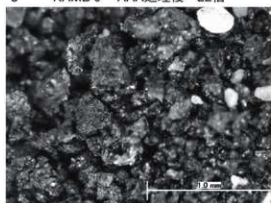
7 KAMB 6 AAA处理前 22倍



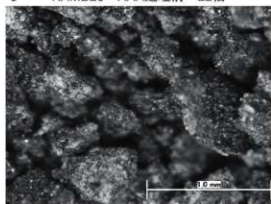
8 KAMB 6 AAA处理后 22倍



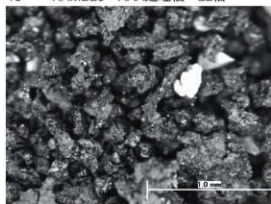
9 KAMB20 AAA处理前 22倍



10 KAMB20 AAA处理后 22倍



11 KAMB41 AAA处理前 22倍



12 KAMB41 AAA处理后 22倍

三角山遺跡出土土器炭化物付着狀態

表1 年代測定用試料一覧

試料番号	種類	時期	種類	出土区・層位	付着状況
KAMB 3	土器590付着	縄文前期曾畑式	深鉢	No.1819	口縁部外面 スス
KAMB 6	土器557付着	縄文前期蒔B式	深鉢	No.6131	口縁部外面 スス
KAMB 20	土器6付着	縄文早期岩本式	深鉢	No.5042	胴部外面 スス
KAMB 41	土器127付着	縄文草創期	深鉢	No.3430	口縁部内面 焦げ

表2 試料の重量と炭素量

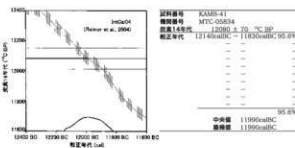
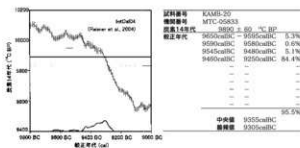
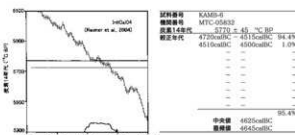
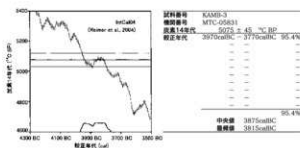
試料番号	採取量	処理量	回収量	含有率1	前処理後	精製	ガス	含有率2	含有率3
KAMB 3	119.62	109.17	8.60	7.9%	良	4.02	2.31	57.5%	4.5%
KAMB 6	84.10	71.17	18.83	26.5%	良	4.03	2.46	61.0%	16.2%
KAMB 20	44.25	44.25	4.57	10.3%	良	3.99	2.06	51.6%	5.3%
KAMB 41	55.81	55.81	16.85	30.2%	良	3.99	2.18	54.6%	16.5%

採取量・処理量・回収量・精製は、炭化物の重量(mg)、ガスは二酸化炭素の炭素相当量(mg)、含有率は%

含有率1は回収量/処理量(%), 含有率2はガス/精製(%), 含有率3は含有率1*含有率2(%)

表3 測定結果と暦年較正年代

試料番号	測定機関	炭素年代 $\delta^{13}\text{C}\text{‰}$	^{14}C BP (補正值)	暦年較正cal BC (%)は確率密度
KAMB- 3	MTC-05831	-27.1	5075 ± 45	3965-3770 95.4%
KAMB- 6	MTC-05832	-25.3	5770 ± 45	4720-4515 94.4% 4510-4500 1.0%
KAMB- 20	MTC-05833	-25.8	9890 ± 60	9650-9595 5.3% 9590-9580 0.6% 9545-9480 5.1% 9460-9250 84.4%
KAMB- 41	MTC-05834	-24.8	12080 ± 70	12140-11830 95.6%



あ と が き

「今の人が我々を見て驚くように、未来の人もまた我々のなしたことに驚くであろう」

古代ギリシア アテネの政治家 ペリクレス

三角山Ⅰ遺跡に残されていたものは、まさに現代の我々を驚かすに十分な内容であった。たとえば、縄文時代草創期の土器。あの貝殻の文様の美しい「特級品」は、新聞やテレビに幾度となく取り上げられたが、復元や実測の過程で、その製作技術や芸術的センスの高さに感嘆したものである。はるか1万年以上前の制作者が、自信たっぷりに「どうよ!」と言っているようであった。また、早期の土器の豊富さは、まるでクレイアニメのように形態が変化していく様を見せてくれた。石器に使われていた石材には北九州産のものもあり、製作技法も合わせて、我々が思っていた以上に交流が広がったことを証明してくれたのである。

思えば人類は、こうした技術の積み重ねや伝承・発達をとげて今日の生活を築いてきたのである。1万年以上前に木の根を掘り起こし苦勞して作られたであろう小さな堅穴住居は、ジェット機が離着陸できる長大な滑走路を持つ新種子島空港となった。新しい種子島の玄関口、人や物の交流の拠点である。それを実現した人々の努力と技術もまた驚嘆に値するものである。

遺跡の発掘と報告書作成のための整理作業もまた努力と技術の積み重ねである。化学分析や土器復元・データ処理などに最新の技術が使われた。今の人々が、そして未来の我々の子孫たちが、空港を見て、この報告書を見て、驚いてくれたならばこんなにうれしいことはない。

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(96)
新種子島空港建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集

三角山遺跡群(3)

(三角山Ⅰ遺跡)

第2分冊 縄文時代早期以降編

発行日 2006年1月10日

発 行 鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899-4318
鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号
T E L (0995) 48-5811

印刷所 湧上印刷株式会社
〒892-0845
鹿児島県鹿児島市樋之口町6-6
T E L (099) 225-2727

